



# 節電

## にご協力ください。



今回の東日本大震災により、電力供給設備が大きな被害を受け、電力の供給不足が生じています。

首都圏などでは、大規模停電を防ぐために、計画停電が実施され、信号機や病院などへの送電も断ち切られるなど、生活に混乱をもたらしました。

九州電力では、さらに電力需要が高まる7月から9月下旬の夏場には『電力不足の可能性もある』として企業や家庭への節電協力を呼びかけています。

### 家族団らんで節電のアイデア！

## 今こそ家族省エネ運動

### 考え直そう『電気をつけっぱなし生活』

本町は、平成17年から政府が進める地球温暖化防止の国民運動に参加し、節電で温室効果ガス排出を削減する運動に取り組んできました。

その取り組みは、冷房温度を28度に設定すること。続いて、昼休み時のこまめな消灯、パソコンなどの待機電力カットを実行。さらに給湯ポットを廃止し、水筒を持参するなどして電気使用量削減に努めてきました。

この結果、開始初年度は、前年度の電気量を4割節約する削減効果となりました。

また、日ごろから節電を心がけてもらおうと、家族で省エネにチャレンジする『省エネ家族応援プラン』も実施してきました。

この取り組みにより、家庭での節電意識が定着し、事業終了後も継続的な節電対策が行われているようです。

この運動に参加した家族の取り組みは、「早寝早起き」、「一家だんらんは一つの部屋で過ごす」、「エアコンの使用量を減らすため家族で外出」、「夏場の打ち水」などさまざま。

家族団らんでアイデアを出し合いながらチャレンジするなかで、「家族の絆につながった」と喜びの声も多く届きました。

今の生活を「省エネ」の角度から見ると多くの無駄が潜んでいることに気付きます。

みなさん「電気をつけっぱなし生活」を考え直す機会です。

まずはひとり一人が節電を意識し、できることからチャレンジしてみてください。

